



# 明園

学校だより 第20号

令和3年3月25日 発行

札幌市立明園中学校

<http://www.meien-j.sapporo-c.ed.jp>

## 一年間の感謝を込めて ～「365歩のマーチ」

校長 今川 義昭

前回の東京オリンピックの後、高度経済成長期にあって、日本が自信に満ちている頃、「365歩のマーチ」という曲が大ヒットしました。(右記) 明園中が開校10数年の頃です。

題名の通り、一日一歩ずつ歩み続ける人生を励ます「人生の応援歌」のような役割を果たし、この曲を歌う、当時‘チータ’の愛称で親しまれていた演歌歌手の代表曲ともなりました。

時代背景は違っても、昔も今も、そこに生きている人々が、歌からでも元気をもらって、日々のさまざまな思い通りにならないことを乗り越えようとしていたことには変わりありません。休まないで歩くのは、少しつらい気もしますが…。

不安な状況が続く中でも、少しずつ、みんなが、前に進もうとしています。

つい最近、時間がとまったままの東京オリンピック2020は、海外からの観客を入れないことで実施する、という新たな報せが届きました。

新型コロナウイルス感染症だけではなく、防災も、SDGsも、目に見えないたくさんの課題が山積している中で、次には何ができるのか、何を、どうしたらよいかを、知恵と五感をフルに働かせて、大人も子どもも、みんなが、考えていかなければならない…。これは確かに大変なことですが、私たちの日本には、古来、考え続けて‘答’を見つけていくという、素晴らしい言葉があります。

「いい塩梅」。

0か100か、ではなく、絶妙なポイントを探る感性を含む「生きる力」を育む学びが、今こそ必要とされているように思います。

なんとか、長い、一年を、平穏に締め括ることができました。

3年生も無事に巣立ち、1・2年生も新しい春への準備を着実にしています。

あらためて、保護者・地域の皆様、学校関係者の方々に、この一年のご理解とご協力を心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

新年度のご挨拶もままならない中、ほとんど手に入らない不織布マスクを手に駆けつけてくださった地域の方々、また、臨時休校に続く分散登校、半年以上に及ぶ相次ぐ変更等々、たくさんのご不便をおかけする中で実施できた授業公開や懇談会等に足を運んでくださいました保護者の皆様…。お一人お一人のお顔を拝見する度に、言葉にならない安心と感謝と申し訳なさとを感じた一年でした。

学校評価アンケートにそっと書かれていた一言、「やはり、学校祭が見たかった。」…ずっと心に残っている言葉のひとつです。

来年もう一度やりなおし、というわけにはいかない子ども達の活動の一つ、もう一つ、と、なんとかやってきたように思う一年も、振り返ってみれば、もっと何かができたのではないか…との反省がつきません。

そこを、明園中学校での、4月からの新たな出発点としたいと考えています。

120名を超える新入生を迎えて、新たに始まる新年度もまた、よろしく願いいたします。

### 「365歩のマーチ」

しあわせは歩いてこない  
だから歩いてゆくんだね  
一日一歩 三日で三歩  
三歩進んで二歩さがる  
人生はワン・ツー・パンチ  
汗かき べそかき 歩こうよ  
あなたのつけた 足あとにや  
きれいな花が咲くでしょう  
腕を振って 足をあげて  
ワン・ツーワン・ツー  
休まないで 歩けソレ  
ワン・ツーワン・ツー  
ワン・ツーワン・ツー

しあわせの扉はせまい  
だからしゃがんで通るのね  
百日百歩 千日千歩  
ままになる日も ならぬ日も  
人生はワン・ツー・パンチ  
あしたのあしたは またあした  
あなたはいつも 新しい  
希望の虹を だいている  
腕を振って 足をあげて  
ワン・ツーワン・ツー  
休まないで 歩けソレ  
ワン・ツーワン・ツー  
ワン・ツーワン・ツー

## 異動(離任・退職)する教職員

この度、10人の教職員が明園中学校から異動となりましたので、お知らせします。

正岡 宏樹 教頭	→西野中学校校長へ	磯 麻耶 教諭(英語科)	→新陵中学校へ
桑原 直人 教諭(国語科)	→北陽中学校へ	佐藤 愛 教諭(特別支援)	→東栄中学校へ
原 啓太 教諭(数学科)	→八軒中学校へ	渡辺 智子 養護教諭	→東白石中学校へ
植村 桂子 教諭(音楽科)	→札幌中学校へ	水口 美紀 栄養教諭	→西陵中学校へ
高木 広昭 教諭(技術家庭科)	→東月寒中学校へ	阿部 雅二 学校事務職員	→栄西小学校へ

正岡 宏樹 教頭

生徒の皆さん、見えないところで頑張っている人たちに感謝し、支えてくださっている方たちのありがたさに気付き、自分の行いで周りの人たちを幸せにしてください。お世話になりました。ありがとうございました。

桑原 直人 教諭

人懐っこくてめんこい生徒たちとたくさん関わって、密度の高い楽しい日々を過ごさせてもらいました。保護者の皆様にもとてもお世話になりました。ありがとうございました。

原 啓太 教諭

無事卒業生を出して、転勤となりました。明園中学校に関わる全ての方々から、たくさんのことを学びました。この経験を力に変えて、これからも全力で突き進んでいきます。今まで大変お世話になりました。

植村 桂子 教諭

5年間お世話になりました。この1年は思うように歌うことができませんでしたが、マスクをつけても一生懸命歌う生徒のみなさんに私が元気をもらっていました。ありがとうございました。

高木 広昭 教諭

明園中に着任したのが、東日本大震災の翌年、2012年でした。古い学校にもかかわらず、ピカピカの校舎に感激しました。生徒の皆さんも9年間ずっと元気でピカピカでした。楽しい9年間でした。

磯 麻耶 教諭

まっすぐで柔軟な心をもった皆さんと共に、幸せな6年間を過ごすことができました。様々な経験を通じ、生徒や保護者の皆様に育てていただきましたこと、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

佐藤 愛 教諭

素直で明るい生徒たちから多くの元気をもらい、充実した日々を送ることができました。これからも明園中のみなさんの活躍を応援しています。たいへんお世話になりました。ありがとうございました。

渡辺 智子 養護教諭

9年在籍し、皆さんの義務教育期間と同じだけの年月をこの明園中で過ごしました。皆さんの成長は著しく、その姿を見守ることができて、毎日とても楽しかったです。お世話になりました。ありがとうございました。

水口 美紀 栄養教諭

給食をモリモリ食べてくれるかわいい明園の生徒たちのおかげで、楽しい5年間でした。毎日の明るいあいさつにも元気をもらっていました。感謝の気持ちでいっぱいです。お世話になりました。

阿部 雅二 事務職員

6年間、たいへんお世話になりました。  
素晴らしい学校に勤務させていただき、感謝の言葉しかございません。本当にありがとうございました。